

10/30 英語コミュニケーション推進事業ALT業務委託プロポーザル質疑回答集

No.	質疑	回答
1	「実施要領」P.1-1(2) 教育委員会が考える課題や令和9年度以降に注力したい業務や課題に対する事業者への期待を教えてください。	児童生徒が英語を用いて自分の考えや気持ちを伝え合う力を育成するため、実際に英語を使う機会の充実やALTの効果的な活用が課題です。また、ALTが明瞭で適切な英語の発音を身に付けること、学校行事等の教育活動に積極的に参加すること、学校職員と円滑にコミュニケーションを図ることも重要と考えます。事業者には、ALTの指導力や資質の向上に向けた継続的な研修、学校との円滑な連絡調整等を通して業務に取り組むことを期待しています。
2	P.1-1(2) 学校側が感じている英語教育への課題やALTに求めるもの、事業者への期待があれば教えてください。	質疑回答集No.1 をご参照ください。
3	P.2-5(4) 提出する①・③・④の書類は原本でしょうか。	提出は写しでも可とします。ただし、原本及び写しとも書類の発行日から3ヶ月以内のものとしてください。
4	P.2-6(4) 見積書について所定様式はございますでしょうか。また任意書式の場合、見積内訳については見積裏面若しくは提案書内への記載、どちらがよろしいでしょうか。	所定様式はありませんので、任意書式で御提出ください。見積内訳は提案書ではなく見積書（裏面可）に記載してください。
5	P.3-7(1)④ 機材についてご用意いただくプロジェクターと参加者が持参するPCを接続するケーブルの種類を教えてください。	実施要領3ページの7（1）④のとおり、本市で用意するものはスクリーン及びホワイトボードのみです。
6	P.3-7(1)-④ 模擬授業をするALTは参加者3名に含まれますでしょうか。 また、模擬授業の場面や教える対象学年の指定はありますか？（例えば、日本人の先生と2名とチームティーチングや小学生、中学生向けなど）	お見込みのとおりです。また、模擬授業の場面や教える対象学年については、小学校4年生の外国語活動『Let's Try!』unit5「Do you have a pen?」を指定いたします。児童は文房具の語句や中心表現に一度触れているものとします。授業者は日本人教師とALTの2名とし、チームティーチングで進める授業の一場面を実演してください。
7	P.3-7(2) 審査員の人数、部署名、お役職を教えてください。	お示しできません。

No.	質疑	回答
8	<p>「仕様書」P.1-3(3)配置①注記</p> <p>【閉園前倒し時の体制および委託料について】</p> <p>すくすく保育園について「閉園が令和10年3月末に前倒しとなる可能性有」とされていますが、前倒しとなった場合、当該ALTの配置先・巡回スケジュールの変更手順および委託料への影響（変更契約の有無など）について教えてくださいいただけますでしょうか。</p>	<p>すくすく保育園に配置されるALTは、週1日に同園、残りの曜日を小学校で兼務にて勤務いただく予定です。閉園が前倒しになった場合は、月曜から金曜日を小学校勤務とすることで想定しています。そのため、現時点では委託料の影響はない見込みですが、閉園前倒しが決定となった場合には、速やかに事業者と協議いたします。</p>
9	<p>P.2-6(1)①②</p> <p>【小学校・中学校における授業補助について】</p> <p>ALTが授業に参加する学年とその週当たりの時間を教えてください。</p>	<p>小学校3～6年生（一部学校では1～2年生の授業に参加）、中学校1～3年生となります。週当たりの時間は、学校規模や時間割で異なりますが、おおむね週21時間となります。</p>
10	<p>P.2-6(1)⑤</p> <p>【海外との交流事業の実施環境について】</p> <p>「海外小・中学校とのオンライン等、1学年において年3回程度」とありますが、使用するオンライン会議ツール（ZoomやTeams等）や端末・通信環境は市・学校の既存インフラを使用する認識でよろしいでしょうか。また、受託業者側から独自システムやオンラインプラットフォーム等の提案・提供を行うことは可能でしょうか。また相手先の学校がすでに決まっているのか、事業者が準備するのかを教えてください。</p>	<p>オンライン会議ツールや端末・通信環境はお見込みのとおりです。受託者側からの提案は妨げませんが、システム等の導入については協議を要します。また、相手先の学校の候補はありませんので、事業者による紹介を希望します。</p>
11	<p>P.2-6(1)⑧</p> <p>「市内英語科教諭及び小学校教諭に対する研修への協力」について、年間想定回数や開催時期、1回あたりの時間の目安をご教示ください。また、配置ALTだけでなく、派遣業者の専任アドバイザー・トレーナー等が講師やサポートとして登壇・協力することは認められますでしょうか。</p>	<p>年間2回、各2時間の教員研修を予定していますが、開催時期は今後決定します。事業者の専任アドバイザー・トレーナー等が講師やサポートとして研修に協力することは可能ですが、実施に当たり詳細については協議を要します。</p>

No.	質疑	回答
12	<p>P.2-6(1)</p> <p>【教育DX・ICTツール等の自主提案について】</p> <p>仕様書で定められた基本業務に加え、児童生徒の英語力向上や評価の質的向上に資する「AIスピーキングテスト」や「独自デジタル教材・オンライン学習ツール」等の導入を企画提案書内で自主提案することは可能でしょうか。また、その場合の提案内容は評価基準の「企画提案内容の優良性」等において加点対象となりますでしょうか。</p>	<p>提案については妨げません。審査項目に合致するものであれば評価の対象といたします。</p>
13	<p>P.2-6(2)⑥</p> <p>【性暴力防止法および不適切行為方針への遵守手続きについて】</p> <p>令和8年施行予定のこども性暴力防止法及び貴委員会の「方針」遵守にあたり、着任前までに事業者から提出すべき書類（英国・母国等発行の無犯罪証明書/DBS、誓約書等）の具体的内容や確認手続きのフローについて教えてください。</p>	<p>こども性暴力防止法に基づくALT配置の確認手続きは、こども家庭庁のこども性暴力防止法関連システムにおいて行うこととなります。現在、システム詳細は設計中となっており、必要な書類等がある場合については、事業者決定後にお示しいたします。事業者におかれましても同法の施行に向けて法令内容の確認等にご協力くださるようお願いいたします。</p>
14	<p>P.3-9(5)</p> <p>【こども園及び保育園での就業について】</p> <p>2園それぞれを週1回訪問する認識でよろしいでしょうか。また想定する訪問時間帯を教えてください。</p>	<p>お見込みのとおりです。また2園での勤務時間は午前中の2～3時間ほどです。具体的な派遣の曜日や時間帯は事前の協議により決定します。</p>
15	<p>P.3-10(3)</p> <p>【緊急時対応（2時間）の定義について】</p> <p>「事故・事件等のトラブルが生じた場合、2時間以内にその対応ができる体制」とありますが、この対応とは「現地（教育委員会や該当校・園）への物理的な担当者の駆けつけ」を指すものでしょうか。あるいは、電話やオンラインによるファーストレスポンスも含みますでしょうか。</p>	<p>現地への担当者の駆けつけとなります。</p>

No.	質疑	回答
16	<p>P.3-10(2)</p> <p>【未配置時の精算・減額計算基準について】</p> <p>万が一臨時にALTが配置できなかった場合の「未配置分の勤務日の委託金額からの減額」について、具体的な算定式（日割算定基準など）や、別日への代替勤務（振り替え）による充当措置が認められるかについて教えていただけますでしょうか。</p>	<p>算定式については、当該年度の契約額を当該年度配置日数で除し、得られた単価を未配置日数で乗じます。契約額が減額となるため変更契約を締結します。また、別日への代替勤務による充当措置は、原則認めておりません。</p>
17	<p>P.3-14(4)</p> <p>【教科書・教材・消耗品等の費用負担範囲について】</p> <p>「業務遂行に係る教科書、テキスト、教材、機材、消耗品等については派遣業者の費用によりこれを賄うこと」とありますが、これは派遣業者が独自に持ち込む補助教材やワークシート、自習用機材等を指し、学校現場で児童生徒に配布・使用する通常の教科書・公的副教材・校内印刷紙等は市・学校側から供給されるという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
18	<p>実施要項 2 ページ</p> <p>6 参加手続き等/ (4) 企画提案書及び見積書の提出実績報告書について</p> <p>実績報告書は、那須烏山市HPに掲載の「別記様式 2」の書面を活用せず、任意様式にて提出してもよいという認識で正しいでしょうか。</p>	<p>別記様式 2 の項目内容を記載すれば任意様式による提出を可とします。</p>
19	<p>実施要項 3 ページ</p> <p>7 契約候補者の選定及び委託業者の決定について</p> <p>(1) プレゼンテーションの実施/④方法</p> <p>プレゼンテーションへの参加人数について「3 名以内」とありますが、模擬授業を実施するALTも含まれるという認識で正しいでしょうか。</p>	<p>質疑回答集No.6をご参照ください。</p>

No.	質疑	回答
20	<p>実施要項 3 ページ</p> <p>(1) プレゼンテーションの実施/⑤内容</p> <p>ALTによる模擬授業（15分程度）について</p> <p>授業について、特定の学年・単元等ご指定はありますでしょうか。※もし特定の指定がない場合は、今年度試験的に市内小学校3校（荒川小学校・境小学校・七合小学校）で実施予定「なすからイングリッシュデイ」特別授業の一部を模擬授業として実施したいと考えていますが、問題ございませんでしょうか。</p>	<p>質疑回答集No.6をご参照ください。</p>
21	<p>実施要項 3 ページ</p> <p>7 契約候補者の選定及び委託業者の決定について</p> <p>(1) プレゼンテーションの実施/⑤内容</p> <p>ALTによる模擬授業（15分程度）について</p> <p>授業内において、LESSンプランや教材等を使用する場合、審査員の先生方へ配付しても差し支えないかご教示ください。</p>	<p>資料の配付は妨げません。</p>
22	<p>令和8年度、令和7年度の年度ごとの契約金額（税抜）をご教示ください。</p>	<p>令和8年度20,700,000円（税抜）、令和7年度20,700,000円（税抜）となります。</p>
23	<p>別記様式2「業務実績表」については、今回のプロポーザルに参加する会社のみ(グループ会社除く)の実績を記載するという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
24	<p>プレゼンテーション当日の実施時間帯のご予定についてご教示ください。</p> <p>（例：午前、午後など）</p>	<p>参加事業者が3社以下の場合は午後、4社以上となる場合は午前、午後を通して実施する予定です。</p>
25	<p>プレゼンテーションの順番の決定方法についてご教示ください。</p>	<p>企画提案書の受付順とします。</p>
26	<p>令和9年度の実際の派遣開始日、派遣終了日をご教示ください。</p>	<p>令和9年4月8日開始、令和10年3月24日終了です。</p>

No.	質疑	回答
27	令和9年度のALT1名あたりの年間配置日数、および月ごとの配置日数をご教示ください。	年間200日（4月:16日、5月:18日、6月:22日、7月:13日、8月:2日、9月:20日、10月:20日、11月:20日、12月:18日、1月:15日、2月:19日、3月:17日）です。
28	令和9年度の8月中の勤務について、想定される日数、時間数、内容等についてご教示ください。また、令和8年度、令和7年度の実績についてご教示ください。	令和9年8月中の勤務は、仕様書9（4）①の夏季休暇後の就業日のみとなります。時間数は仕様書9（2）、内容等は仕様書6（1）をご参照ください。令和9年想定は2日、令和8年実績は2日、令和7年度実績は2日です。
29	今年度に配置されているALTの出身国と、その内訳人数をご教示ください。	アメリカ合衆国3名、フィリピン2名です。
30	別紙2に、評価の視点として「ALT業務において、十分な実績を有しているか」との記載がありますが、評価の対象となるのは、今回のプロポーザルに参加する会社のみ（グループ会社除く）という認識でよろしいですか。	質疑回答集No.23をご参照ください。
31	仕様書3(2)におきまして「すすく保育園」の閉園が令和10年3月末に前倒しとなる可能性が示されておりますが、前倒しとなった場合の令和10年度におけるALT配置計画や巡回先の再編等について、現時点で想定される方針やご要望がございましたらご教示ください。	質疑回答集No.8をご参照ください。
32	仕様書6(1)⑤「英語を母国語又は、同等の英語力を有する外国人の訪問」とは、市内に派遣するALTのスケジュールを調整しての実施は可能でしょうか。	可とします。
33	仕様書6(1)⑤「英語を母国語又は、同等の英語力を有する外国人の訪問」の人数、内容等についてご教示ください。	過去の事例として、児童生徒と面識のない外国人5～6人に訪問いただき、5年生の単元において客役を演じてもらい、授業を充実させたことがあります。令和9年度は事業者及び各学校の英語担当教諭と相談の上、具体的な内容を決定する予定です。
34	仕様書6(1)⑤「小・中学校における海外との交流」について、「1学年において年3回程度」とありますが、対象学年についてご教示ください。	対象学年は3～6年生、中学校1～3年生となります。

No.	質疑	回答
35	仕様書6(1)⑥「英語弁論大会、海外派遣事業、学習サポート事業等」における指導補助について、令和9年度の実施予定（時期、回数、時間数、派遣体制、業務内容等）をご教示ください。また、令和8年度及び令和7年度の実施実績（時期、回数、時間数、派遣体制、事業者の関わり方など）についても併せてご教示ください。	英語弁論大会は地区の英語スピーチコンテストに向けて、ALTが昼休みや放課後等に発音指導やスピーチ練習を支援しています。地区大会で入賞した生徒については、11月の県大会に向けた練習も同様に支援しています。また、大会当日はALTが会場まで同行しています。練習回数及び時間数は、出場状況や各学校の実情に応じて異なります。海外派遣事業は、応募者の審査時に審査員として1名に協力いただいています。時間は応募者により変わりますが、およそ半日となります。学習サポート事業等は、実用英語技能検定3級の二次試験対策として、オンラインでの面接練習を依頼しています。令和9年度についても同様に継続する予定です。
36	仕様書6(1)⑧「市内英語科教諭及び小学校教諭に対する研修の協力」について、令和9年度の実施予定（回数、時間数、講師、内容）をご教示ください。また、令和8年度、令和7年度の実績についてもご教示ください。	令和9年度は大学教授に依頼し授業研究を年間2回、2時間程度を予定、令和8年度は令和9年度の内容と同様、令和7年度も同様ですが、年間4回でした。
37	仕様書6(1)⑨「授業力向上のための研修（原則週1回）」については、対象はALTであるという認識で間違いはないでしょうか。	お見込みのとおりです。
38	外国語・英語や国際理解、国際交流等に関するイベントやオンライン授業などについて、令和9年度の実施予定（回数、時間数、講師、内容）をご教示ください。また、令和8年度、令和7年度の実績についてもご教示ください。	該当事業として「なすからイングリッシュデイ」及び「イングリッシュカフェ」を実施しており、内容等は次のとおりです。【なすからイングリッシュデイ】令和8年度：会場3校、開催1回4時間、講師ALT、英語に親しみ英語を使う楽しさを実感できる活動、令和7年度：1校で実施の他、令和8年度と同様です。令和9年度は、各学校に開催希望を確認の上、同様の内容で実施します。【イングリッシュカフェ】令和8年度：会場1箇所、開催2回各4時間、講師ALT、英語を使ったゲームやものづくり等の活動、令和7年度：令和8年度と同様、令和9年度も同様に開催予定です。
39	実施要領6(4)に「実績報告書（任意様式で過去3年間のALT業務における契約年度・業務名・契約額・発注者名を一覧表で作成）」と記載されておりますが、自社の任意様式にて実績一覧を作成・提出するという認識でよろしいでしょうか。	質疑回答集No.18をご参照ください。
40	実施要領7(1)⑤「ALTによる模擬授業」の対象学年、教材、内容等についてご教示ください。	質疑回答集No.6をご参照ください。

No.	質疑	回答
41	実施要領P1-2契約金額の上限について 令和6年度・令和7年度の契約金額についてご教示ください。	令和6年度25,900,000円（税抜）、令和7年度20,700,000円（税抜）となります。
42	実施要領P2-6参加手続き(3)について プレゼンテーションの順番の決定方法についてご教示ください。	質疑回答集No.25をご参照ください。
43	実施要領P3-7(1)プレゼンテーションの実施について 「⑤内容」について、ALTによる模擬授業とありますが、この場合、プレゼンに参加するALTも入室制限3名のうちに含まれるかどうか、ご教示ください。	質疑回答集No.6をご参照ください。
44	実施要領P3-7(1)プレゼンテーションの実施について プレゼンテーションでは15分程度の模擬授業とありますが、模擬授業の内容のテーマや校種について指定はございますでしょうか？また、普段小・中学校の英語の授業内では、タブレットの活用は常態化しているかどうか、ご教示ください。	質疑回答集No.6をご参照ください。また、タブレットの使用頻度は学校ごとに異なるため、常に活用してる状況ではありません。
45	実施要領P3-7(2)について 「審査は、本市職員で構成する審査員」とありますが、審査委員会の構成（人数・役職）についてご教示ください。	質疑回答集No.7をご参照ください。
46	仕様書P2-6業務内容⑤海外との交流について 「小・中学校における海外との交流」について、今年度・昨年度での実施経験についてご教示ください。具体的な小・中での実施回数・交流国・実施内容についてご教示いただけますと幸いです。	令和8年度、令和7年度における実施はありませんでした。本市の実施希望校において、事業者提案により時差の影響が少ない国の学校とオンラインによる交流の実施を希望します。
47	仕様書P2-6業務内容⑤海外派遣事業について こちらについて、今年度・昨年度での実施経験についてご教示ください。具体的には校種ごとの指導補助及び審査補助の回数、派遣先の国について、海外派遣の期間などについてご教示いただけますと幸いです。	令和8年度：オーストラリアシドニーへ8月1日から8月7日まで派遣、令和7年度：オーストラリアシドニーへ8月2日から8月8日まで派遣しました。その他は、質疑応答集No.35をご参照ください。
48	仕様書P2-6業務内容⑨授業力向上のための研修について 「原則週1回」とありますが、令和7年度について、毎週行われている研修のテーマや内容についてご教示ください。また、こちらの研修の対象はALTか、日本人教員かについてもご教示ください。	英語の指導方法、勤務態度や服務上の留意事項、学校行事への参加方法、教職員とのコミュニケーションの取り方等について研修を行いました。研修の対象は、質疑応答集No.37をご参照ください。

No.	質疑	回答
49	仕様書P2-7派遣上の条件②について 「個人情報に留意したうえで履歴書を提出すること」とありますが、履歴書に含めるべき内容、また提出期限についてご教示ください。	姓名、生年月日、出身国、学歴、職歴、日本語能力の程度、健康状態、自動車運転免許の有無、給食の有無を含めてご記載ください。派遣されるALTが確定次第、ご提出ください。
50	仕様書P3-9就業(5)について 「市立1こども園及び1保育園の計2園において、週1回程度の指導補助を行う」とありますが、基本的には入国管理局にて、派遣講師に資格外活動許可を取得させる必要があると考えております。入国管理局での審査等の時間も考慮する必要があるため、想定される派遣開始月についてご教示ください。	質疑回答集No.26をご参照ください。
51	仕様書P3-10業務実施体制の整備(1)について 令和7年度・令和8年度について、当日の代理講師の派遣が行われていたかどうか、また当日の代理講師の派遣率についてご教示ください。	当日の代理派遣は、令和7年度：有、令和8年度：無（10月29日時点）でした。令和7年度の代理講師派遣率は約1.1%となります。
52	仕様書P3-10業務実施体制の整備(2)について 「派遣業者は未配置分の勤務日を教育委員会と調整の上、請求する当該年度の業務委託金額から減額すること」とありますが、令和7年度・令和8年度では、未配置分の振替調整等は行われましたでしょうか。また、実施されている場合、振替調整率についてご教示ください。	令和7年度、令和8年度（10月29日時点）ともに未配置の振替調整は行われておりません。
53	仕様書P4-12安全衛生(3)について ALTの健康診断について、「当該業者はその結果を5月中に教育委員会に提出しなければならない。」とありますが、健康診断の結果は教育委員会の方の限られた方のみが閲覧するものでしょうか。また、その場合、事前に閲覧の範囲については共有頂けるものでしょうか。個人情報の取り扱いについてALTから同意を得るために、上記についてご教示ください。	お見込みのとおりです。また、閲覧範囲については事業者より希望があれば、共有いたします。
54	仕様書P4-14その他(4)について 「業務遂行に係る教科書、テキスト、教材、機材、消耗品等については派遣業者の費用によりこれを賄うこと。」とありますが、機材については現行業者はどの機材をALTに貸与しておりますでしょうか。また、それらは学校のインターネットに繋がるように設定がされておりますでしょうか。上記についてご教示ください。	タブレット端末を貸与しており、当該端末は学校のインターネット回線を使用できます。